



土手から野鳥を観察する参加者

鴨川野鳥観察会

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

ガイドの解説を聞きながら鴨川を歩く「鴨川野鳥観察会」に同行して取材しました。スタートの大谷公民館には、一般参加の老若男女26人、ガイド・スタッフ10人の計36人が集合しました。そのうち6人は元気な子どもたちで、スタートからにぎやかな会となりました。この観察会は、市

環境推進協議会と市の共催で、リピーターも多い人気の会との説明がありました。

ガイドは、北本の埼玉自然学習センターから2人、荒川の自然を守る会から2人の計4人で、まずは本日の内容を説明。「みなさん、野鳥は10種以上観察してくださいね。1種を2人以上で観察したら確認OK。1人だけの確認は参考データとします。それでは早速出発しましょう」との発声で観察会がスタートしました。

公民館を出ると、すぐにシジュウカラを観察。鴨川の土手に出る前から皆さん張り切っています。さらにその先でカラスの仲間を観察。「ハシボソガラスだ!」と声を上げたのは小学生の男の子。ハシボソガラスかハシブトガラスかを瞬時に見分けた観察力に感心しました(ハシボソかハシブトかは、くちばしの太さで見分けます)。土手に上がり右岸を南へと歩きますが、早速カワセミを



大谷地区
富田 一郎さん

発見! この野鳥がいる条件は、巣穴を掘れる土手があることや、餌となる小魚などがあることで、鴨川の環境の良さが証明されます。歩みを進めるごとにコガモ、スズメ、ハクセキレイ、ツグミ、ヒヨドリ、モズと、出合いの数が増えていきます。「最近スズメが減っている」とのガイドさんの説明がありました。が、なぜそうなのかはまだよく分からないそうです。おなじみのスズメにそんな変化が起きているのを知り、意外でした。

往路をまた、観察しながら大谷公民館へと戻り、今日見た野鳥の確認をして無事終了。「えっ? もう終わり?」とまだまだ鳥を見たい元気な子どもの声が聞こえてきました。自然に親しむ行事はたくさんあるので「広報あけおや市ホームページで情報をゲットしましょう。」

市民の情報交流スポット



おいでください

■民謡初心者教室 5月1日~7月10日(6月5日を除く)の毎週(火)13:00~15:00、市民体育館 定員20人 費用1,100円(全10回) 電話 塩畑 774-7667 **ひと言!** アッピ音頭、東京音頭などです。上履き持参。

■お寺で紙芝居「やぎさん一座」 5月14日(月)14:00~15:30、遍照院 電話 八木 771-1583 **ひと言!** 上尾の民話、その他いろいろ。スクリーンに映写します。

■唄と踊り 5月20日(日)9:15~19:00、コミュニティセンター 電話 八千草 090-5792-9872 **ひと言!** 樹の会が唄と踊りを披露します。ぜひ見に来て下さい。

■上尾芸術協会第28回定期公演 6月3

日(日)14:00~16:00、桶川市民ホール 費用1,000円 電話 岩崎 080-5414-0693 (20:00まで) **ひと言!** 会員の演奏による世界の音楽めぐりにお出掛けください。

■なぎなた初心者教室 6月6日~27日の毎週(水)9:30~12:00(全4回)、市民体育館剣道場 定員10人 費用スポーツ保険代(年齢により異なる) 電話 6月5日(火)までに電話で豊嶋 771-8253 **ひと言!** 精神力と思いやりを育むなぎなたを体験してみませんか。

いきいきサークル

●花の丘(社交ダンス) 毎週(火)①初心者コース13:00~14:30②中級者コース14:45~16:15、市民体育館 費用月額3,000円(入会金1,000円) 波田野 080-5460-2089 **ひと言!** 基本から指導します。無料体験あります。男性歓迎。

●親子でリトミック 毎月2回(水)10:00~10:50、大石公民館 電話平成27年4月以降に生まれた子どもと親 費用月額1,000円

川端 050-3660-1847 **ひと言!** 音楽を通じて、親子で楽しくリトミックをしませんか。

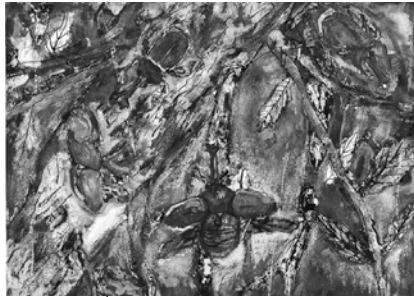
●モーニング英会話 毎月3回(土)10:00~12:00、上尾公民館 費用月額5,000円 細野 773-2964(17:00以降) **ひと言!** 楽しく英語の勉強をしましょう。初心者歓迎です。

●初級英会話 マハロの会 毎週(水)9:30~11:30、上尾公民館 費用月額5,000円 高梨 721-9127(22:00まで) **ひと言!** オーストラリアの先生と楽しく英会話を始めませんか!

●民吟会(詩吟) 毎月3回(木)13:00~15:00、川神明会館 費用月額1,000円 椿 090-2621-5758 **ひと言!** 詩吟で声を出す楽しみを体験しましょう。初心者大歓迎。

●虹の会歌謡教室 毎月第1~3(木)13:00~17:00、イコス上尾 費用月額2,000円(入会金1,000円) 新野 777-5988(18:00以降) **ひと言!** 初心者歓迎。見学は自由です。楽しく歌ってみませんか。

定…定員 宛…対象 費…費用 持…持ち物 日…当日、直接会場へ 申…申し込み



受賞作品『夜のカブト虫』

皆さんは、夏休みの思い出を絵に描いたことがあるでしょうか。楽しかったことを思い起こしながら、1枚の絵に表現することは大変ですが、それ自体が思い出となる貴重な体験でもあります。そんな思い出の絵で、さらにすてきな経験をした少年が富士見小学校の藤井みい君です。

MOA美術館全国児童作品展は、子どもたちが興味や関心を持ったことを、絵画や書写に表現することによって、豊かな心を育て、夢や目標に向かって自ら考え、行動する力を養うことを目的としています。毎年、国内外から多数の応募があり、今回の応募総数は約32万点。その中から、1点だけ選ばれるボーイスカウト日本連盟理事長賞を、藤井君が受賞しました。

受賞作品の『夜のカブト虫』は、夏にお父さんと虫捕りに行った時の風景を描いたもので、大好きなカブト虫を題材にしました。

スポットライト

～人・仲間～



藤井 みい 君
ま
(柏座在住)

SPOT LIGHT
The life of a great person

1枚の絵が運んでくれたすてきな経験

第29回MOA美術館全国児童作品展でボーイスカウト日本連盟理事長賞を受賞

「カブト虫の細い脚や羽根の筋、葉の葉脈など細かな描写が難しかった」「夜の暗闇を濃淡で表す工夫に気が使った」と、制作の苦労を振り返ります。「夜の背景は、白いアクリル絵の具を固めて墨汁で色を付けた後に洗い流しました」と大人顔負けの技術も盛り込まれています。また、カブト虫の形状を正確に表すために、何冊も図鑑を見比べたり、パソコンで調べたりし、さらに捕ってきたカブト虫を繰り返し観察して、完成までに4日間かけた力作です。

ことしの1月に静岡県熱海市にある美術館で行われた表彰式に出席。当日は、受賞のご褒美にうれしい食事などを楽しみ、旅行を兼ねた大満足の1日となりました。一方で、人一倍恥ずかしがり屋の藤井君にとっては、人前で表彰されることはとても恥ずかしかったと、はにかみます。

「学校で一番好きなのは給食、特に揚げパンが大好き」と笑顔で語る藤井君は、友達と野球やサッカーなどで遊ぶ活発な一面も備えています。今回の受賞を受け、学校でも表彰され、友達からも褒められてうれしかったそうです。

藤井君にとって今回の受賞は、夏の思い出とともに心に刻まれる大切な出来事になりました。皆さんもことしの夏は、思い出に残る作品づくりに挑戦してみてください、いかがでしょうか。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は4月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



『広報あげお』子育て支援特別号

- 特別号を読み、上尾市の子育て環境が充実していることを感じました。子育て支援センターなどの施設を活用し、楽しい子育てをしたいと思います。(30代女性)
- 通勤にも便利で、子どもを育てる環境として、公園や子育て支援施設が充実していることが分かり、将来的に住むのに良い場所だと思いました。(20代男性)

ぜひ皆さんも、上尾市で良い子育てライフを過ごしてくださいね。



スポットライト

はんが い
半谷 比奈子さん

- 俳句は自宅でもできて良いですね。自分も生涯続けられるものを見つけたいと思います。(60代男性)
- 手を使い、脳を使う俳句を始めて充実した日々を過ごしたいと思います。(70代女性)

『広報あげお』では、さまざまな分野で活躍する人の姿を取り上げ、盛り上げていきます！



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。